



萩市須佐地域

公民館だより

令和7年

10月

第627号

須佐地域生涯学習推進
マスコット「まな坊」

地

※題字は昭和48年発刊第1号時のもの

**集おう！学ぼう！
手をつなごう！**

発行/須佐公民館 〒759-3411 萩市大字須佐4570-1 TEL08387-6-2310 FAX08387-6-2030
弥富公民館 〒759-3302 萩市大字弥富下4043 TEL08387-8-2044 FAX08387-8-2212
特定非営利活動法人 須佐元気なまちづくりネット

「敬老の日」のお祝いに…

須佐地域敬老会



鬼龍雄治朗の舞台劇



座長の応援…



萩市長からお祝い金を受け取る受賞者

《今月の話題》

- アトラクションに沸く敬老会・・・・・・・・・・1・2P
- 夏休みの宿題を頑張る子ども達・・・・・・・・・・2P
- レクで盛り上がる生き生き教室つどい会・・・・・・・・3P
- 須佐中2年生の職場体験！・・・・・・・・・・4・5P
- スマホクラブ開催！AIとは？・・・・・・・・・・9P

祝 敬老会

9月15日は「敬老の日」。

今年も、須佐地区・弥富地区合同の敬老会が須佐文化センターで開催され、約70名の方が出席されました。式典では、敬老会実行委員会会長の石田憲雄さんがお祝いの言葉を述べた後、来賓祝辞として萩市田中文夫市長よりお祝いの言葉をいただきました。その中で、米寿の方へお祝いの品を持って行かれたときに、「長寿の秘訣は何ですか？」と問われたそうです。すると「しっかりと食べてしっかりと寝ることです」と答えられたそうです。今、NHKの朝ドラ「あんぱん」に出てくるアンパンマンも「生きるために食べるんだ」と言っていましたね。



鮮やかに舞う鬼龍雄治朗

式典後のアトラクションでは、地元須佐出身の石田雄治朗さん（本町中）座長率いる「劇団進華（しんか）鬼龍雄治朗」の舞台が1部、2部とありました。華やかな舞台にきらびやかな衣装での舞台芸に、敬老者だけでなく周りのスタッフも見入っていました。



舞台演舞を楽しむ敬老者

当日、出席された敬老者の皆さんは、数時間でしたが、久しぶりに会ったお友達や、仲の良い方同士で座って楽しくおしゃべりしたり、演舞を見たりして、敬老の日を和やかに過ごされていました。

高齢化は年々進んでいくけれども、身体が動くうちは、家から出て色々な人と交流を持ち、いつまでも元気に過ごしていただけたらと思います。また来年も元気に会いましょう。



夏休み終盤！
宿題！片付け！
頑張ろう！

弥富放課後子ども教室

8月21日（木）・22日（金）の両日、弥富公民館で子ども会主催の「宿題！片付け！大作戦！」が開催され、須佐地域の小中高校生11名が参加し、夏休みの宿題に取り組みました。

はじめに2日間で取り組みたい宿題の内容を確認してから、それぞれ宿題に取り組みました。



テーブルに座って真剣に宿題をする子ども達

午前中、しっかりと集中して勉強した後、1日目の午後は、お楽しみメニューとして、弥富郵便局の白神局長さんによる工作教室を行いました。

今年は、

段ボールを使って、バスケットゴールゲームを作りました。



夢中になる段ボール工作

紙コップでゴールを作り、大きな洗濯ばさみのバネの力を利用して、ゴールを目標に向けてボールを飛ばすゲームです。自分たちの思い思いの場所にゴールや障害物などを設置し、個性ある工作が出来上がり、子ども達も楽しくダンボール工作を体験することができました。

2日目のお楽しみメニューは、ボッチャを行いました。高学年と低学年のペアで5チームに分かれ、優勝目指して盛り上がりを見せました。年上が年下の子を気遣いながらプレーする姿は、とても微笑ましいものでした。

この行事は、少しでも子ども達の夏休みの一助となればと考えての企画ですが、なかなか予定通りに宿題を済ませることができなかった子もいたようです。

楽しい夏休みも、あっという間に終わってしまいます。素敵な夏休みになりましたでしょうか？



テーブルゲームに夢中!

つどい会

9月3日(水)のつどい会は、レクリエーションで「〇〇しいゲーム」をしました。このゲームは言葉の最後に「しい」(例…図々しい・女々しい)がつく言葉を順番に言っていくというシンプルなゲームです。

まず、各テーブルで言葉を出していきましました。最初は調子よく言葉が出ていましたが、3分を過ぎたぐらいいからどんどんペースダウンしていきましました。たまに違うテーブルから聞こえる言葉に「あ、あれもあつたね」と話す声も聞こえましました。

次は各テーブルで出た単語をもとに、どの班が一番言葉を出せたかを数えましました。思いのほか皆さん単語が出ていましましたが、「簡単なゲームなのにいざとなると出てこないものね」と、少し悔しそうに話されていま方もいましました。

次は、おもちゃを使った脳トレをしていましました。指先を使う「ジェンガ」と「寿司パニック」、記憶力と戦略が必要になる「ゴブレットゴブラーズ」で遊びましました。ゴブレットゴブラーズは、大中小のこまを一つ

ずつ、マスの中に置き、先に一列に並べたほうが勝ちというシンプルなゲームですが、大きいこまで相手のこまや自分のこまを隠して妨害することができまします。職場体験に来てくれた須佐中2年生の田村君も、一緒にゲームをしながら「そこじやなくてここに置いたらいいよ」と戦略を立てながら楽しまされていましました。ジェンガも開始から20分経つても一度も崩れることなく、静かに(騒ぐと崩れるかもしれない)真剣に勝負されていましました。



ジェンガで楽しむ参加者たち

寿司パニックは、今回一番盛り上がつていましました。寿司板がひっくり返るたびに「うわああ!」と声がかかるほど驚かれていましました。

来月はお弁当を作つて遠足に行こうと思いまします。皆さんお楽しみに。

梨狩りで秋の味覚を堪能

さつき学級

9月18日(木)、須佐

公民館さつき学級で梨狩り



↓

りに出かけましました。行き先は弥富のお隣、小川地区平山台にある中島観光農園さんです。今回の学級テーマは「地元地域を知ろう」。

近くにあるながら梨狩りは初めてという方や、「一人ではなかなか行けない」と話される方もおられ、皆さん楽しみに参加されましました。

当日は前夜から雨が降り続き心配しましました。ちようど梨狩りの時間には雨が止み、しっとりとした雨上



とびきりのいい梨を選んでいる参加者

がりの空気の中で活動を楽しむことができた。参加者は17人。梨の木の下をかがんで歩きながら、その場で食べる梨とお土産の梨を選び、楽しくもいでおられましました。

今回収穫したのは「二十世紀梨」。

収穫の後はどういうハウスの下に移動し、採れたてをガブリ。今年の夏の暑さと雨不足の影響でやや小ぶりでしたが、その分甘みが大変強かつたです。かじると果汁があふれ、「と



農園では梨の食べ放題! いくつ食べたかな...

ても甘いね」「おいしいね」と声が上がりました。

梨狩りを通して、身近な地域の魅力を改めて知るとともに、秋の味覚を存分に楽しむ一日となりました。

ドキドキ、ワクワク：

須佐中2年生が職場体験！

須佐中学校では、2年生が毎年この時期、須佐地域内外の企業などに
出向き、職場体験を行っています。

今年は、14名が9月3日（水）と
4日（木）の2日間に体験しました。
須佐公民館では、田村悠喜君が、
住民との交流や公民館により作成に
よる取材を行いました。

【昼食作りでの交流】

1日目の職場体験学習では、最初
に館長さんから公民館のことについ
て詳しく話を聞きました。須佐公民
館は「NPO法人 須佐元気なまち
づくりネット」という会社が、公民
館の一部の事業を運営していて、そ
のNPO法人が行っている元気な高
齢者を支援する「生き生き教室」の
つどい会に参加し、調理実習とレク
リエーションを体験しました。



キュウリの和え物を作る田村君

調理実習では、キュウリを使った
中華風ケチャップ和えを作るのを手
伝わせていただきました。



地域の方と脳トレで交流



【公民館だよりの記事作成】

また、地域の方と脳トレのレクリ
エーションをして楽しみました。
須佐公民館では一日に何も行事が
無いことは珍しいことだそうです。

2日間体験したのは、公民館だよ
りの記事作成です。毎月、僕たちの
家に届いている「須佐地域公民館だ
より」は、須佐公民館の手作りで、
全国のコングールで金賞も受賞され
ています。

僕は、この職場体験の記事を作成
することになりました。

内容は、つどい会に参加したこと
と、須佐地域内で職場体験をしてい
る友達の取材をしました。

へ一日目

須佐総合事務所へ

ここでは、大谷梓紗さんが次の市
報の一部を、パソコンで作成してい
る途中でした。話を聞いてみると
「自分の好きなことをするのは楽し
い」と話していました。

午前中は、

防災無線の
生放送と原
稿づくりを
して、とて
も緊張した
そうです。

防災無線担
当職員の井
村さんは、

「放送はすごく上手だった。ゆっく
り読んでいて、今すぐにでもできそ
うなくらいでした」と、とても褒め
ておられました。



楽しそうに笑顔で話す大谷さん



へ二日目

須佐自動車へ

須佐自動車では、1日目、兒玉斗
輝さんと山本千尋さんが器具の名前
や車検のことについて学んでいまし
た。2人が須佐自動車での職場体験



緊張しながら作業をする山本君

を選んだ理
由を聞いて
みると、山
本さんは
「部品・器
具の名前を
知りたい」、
兒玉さんは、
「部品など
の名前を知っ
て、現場で機械類を扱ってみたい」
ということ、この職場を選んだそ
うです。

須佐工場の森田さんに話を聞くと、

この仕事は、お客さんあつての仕事。
きちんとした整備をして、お客さん
には安全・安心した気持ちで車をお
届けできるようにしていることを学
んでほしいとおっしゃっていました。

二日目は、実際に道具を使って、
タイヤを外す方法や、タイヤの空気
圧を調べるのを学んでいました。道



器具の名前を覚える兒玉君

具の使い方を学んだあと、実際に1人ずつタイヤを外し、また、空気圧を入れる作業をしていました。

興和産業



興和産業では、大草怜士さんが事務所で、女性の茂刈さんに仕事の手順を学んでいました。大草さんは、お客さんの注文を製品化するための図面をパソコンに出力する「生産管理」の仕事の体験をしていました。「パソコンをさわってまとめるのがとても楽しい」と話していました。

ちょうどそこへ、山本会長さんが現れ、取材に協力していただくと、「色々な職業を体験してもらって、自分に合うものを探して欲しい。できれば、将来須佐に戻って来てほしいのが本音」ともおっしゃっていました。



茂刈さんに指導を受けながらのパソコン打ち

須佐保育園

ここでは、斎藤莉愛さんと、福島菜乃さんが体験していました。

斎藤さんは、「子ども達と遊ぶのはとても楽しいけれど、それ以上にやるべきことが多くて大変」と、話していました。

また、斎藤さんが今回の職場体験で学びたいことは、「保育士の楽しさとやりがいを知りたい」と話していました。実際に園児と接していると、「将来は保育士あり！」と意欲をもって接していました。



小さい園児たちと遊ぶ斎藤さん

一方、福島さんは、園児たちに運動会で踊るダンスを先生方と一緒に教えていました。やりがいは、園児がダンスをできるようになったのを見るとときや、笑っている姿を見るときだそうです。

福島さん

に、今回の職場体験で学びたいことは何かと質問をする。と「優しく、厳しすぎない園児たちとの接し方を知りたい」と話していました。



福島さんに取材をする田村君



園児とリレー、負けないぞ～！

他の生徒は、須佐地区のジェラート店や、益田市の美容室、動物の美容院、萩市内の美容室、萩ケーブルテレビ、電気工事店、

ケーキ屋など、それぞれで職場体験が行われました。皆さん、

お疲れさまでした。



今回の職場体験で、気づいたこと、分かったこと

僕はこの2日間の職場体験学習で、公民館の仕事の一部をさせていただきました。

地域の方との調理実習では、僕は会話をするのが得意ではないけれど、地域の方が話しかけてくださったおかげで楽しく会話ができました。会話が苦手な僕でも、すらすらと会話ができたので、積極的に人と関わることがどれだけ大切かということがとても良く分かりました。

これからは、僕も勇気を出して地域の方に話しかけようと思いました。また公民館は、小学生の時は一年に何回か行くぐらいで、何をするための建物かなどが詳しく分かりませんでした。今回職場体験をしたことで、地域の人達が楽しく通え、いろんな人とのつながりを持つ交流の場だということが分かりました。



将来、自分が大人になっても、人との関わりを大切にしたいと思いました。

そして2日間、僕の職場体験を引き受けて下さり、また、公民館の仕事を丁寧に教えて下さって、ありがとうございました。(田村悠喜)

子育て支援日記

テーマ／おじいちゃん、おばあちゃんの知恵袋

「懐かしい子ども時代…」

育英小学校教頭 児玉慶太

昭和50年代、私がまだ小学生だった頃は、テレビはまだブラウン管で、チャンネルを回すと「ガチャツ」と音が鳴っていました。3人兄弟でそれぞれ見たい番組が違うので、よくチャンネル争いをしていたことを思い出します。今の時代にある家電や遊び道具など、ありとあらゆるものがまるで違う時代でした。

私が小学生だった頃、遊びといえば外遊びが中心でした。近所に中学校があり、そのグラウンドのそばにゲートボールができるほどの空き地がありました。小学1年生から4年生の子ども達がたくさんいたので、もっぱら野球ばかりしていました。もちろん柔らかいボールを使い、打つても遠くまで飛ばないようにしていました。学校から家に帰るとすぐに集まり、1時間ほど遊んで帰っていました。

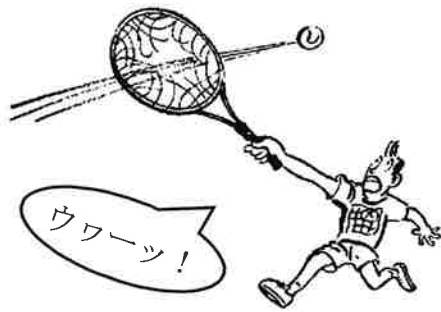
ところが、学年が上にいくと宿題の量が増えてきて、遊んだ後に宿題をするという疲れが寝てしまうことがあり、学校でよく叱られていました。母親から宿題を終えてから遊びに行くように厳しく指導され、嫌々宿題に向かっていたような気がしま

す。時には神社の境内が、遊び場所になることもありました。その神社は、神主さんが不在だったため自由に遊んでいたような気がします。当時は、花火や爆竹などは近くのお店で購入できていたので、ライターを持ち出し遊んだこと

もありました。とはいっても、さすがに火遊びはどの時代でも危険なことです。近所のおじさんから叱られました。ついでに、学校でも家庭でも叱られました。

学校の帰り道に中学校がありまして。中学校のそばを通るころは、中学生は部活動をして

いました。テニスコートの横の道を通って帰っていましたが、ときどきテニスボール（軟球で柔らかい球）が落ちてくることもしばしばありました。それを、拾って中学生に返していました。時々ちよつとしたいたずらをしていました。ボールを拾ってコートの中にこつそり入り、空気



入れを使ってボールをソフトボール程の大きさに膨らませボール入れに忍び込ませていました。中学生が練習を始めるとき、そのソフトボール程のボールを見てじつと固まっていたのを鮮明に覚えています。

また、時にはテニスボールを拾っては、ある人物の背中に思いっきり投げることもありまして。4歳離れた姉です。周りの中学生は、私の姿を確認するとこれから起こるであろう出来事を含み笑いで見守ってくれていました。もちろんただでは終わ

りません。姉は容赦なく私に向かって、力いっぱいラケットを振りボールをぶつけてきました（こんなやりとりが楽しくてたまりませんでした）。それを見かねた部活動の顧問に笑いながら注意を受けたこともありました。今思えば、いろんな人から叱られていました。

当時は、いろんな遊びをみんなで考えて上手に楽しんでいました。幸いにも、近所に遊び場があり遊ぶ友達がたくさんいたのが私にとっては、充実した時間を過ごせていたんだと思います。

そういえば、一度怖かった思いをしたことがあります。地域行事の「お接待」で、友達と自転車で地域

のいろんな所に用意されている接待菓子をもらいにいったときのことです。山の方にある場所に行きその帰り道は下り坂でした。スピードが出すぎてしまい転倒してしまいました。幸い大した怪我ではなかったのですが、自転車を起こそうと自転車に近づき、ふと後ろの荷台を見ると蛇が絡まっていた。いつ、どこで巻き付いたのかは分かりませんが、転倒したときにあの世に召されていたようです。本当にぞつとしました。

このことがきっかけで、私にとってこの世で一番恐ろしいものは蛇となりました。

さて、小学生時代の思い出を書かせてもらいました。書きながら当時を懐かしく思い出しました。遊びを通して、友達だけでなくたくさんの方々と触れ合っていたと思います。町ですれ違ふ人と「おはようございます」「さようなら」「今日も暑いね」なんて挨拶も自然なことでした。

最後に祖父から言われたことを書いて終わりとします。それは「お天道様が見てるぞ」です。詳しくは申しませんが、この祖父の教えで、これまで何度も自分の行いを振り返ることができました。たわいもない思い出作文でしたが、最後まで読んでいただきありがとうございます。





旧 須佐町中央公民館

須佐は地獄絵図に化していた

弥富から4時間かけて下った須佐の町は、まさに地獄絵図さながらの様子。元氣だった須佐は何処へ行ったのか、道路は田圃化してしました。公民館の浸水は、約20cm。文化センターのホールは、全面濁流が・・・。声も出ないのが正直な気持ちでした。



国道は田圃状態(中津交差点)

その時とつさに思いついたのは、ホールが水浸し状態では、床が水

吸ったら高いものにつく事でした。この災時では誰しもが、公民館どこ



文化センターの泥出し作業

ろではありませんでしたが、まずは水をホールから出すことに一人で挑戦。掃除モップで何度も繰り返している、市役所本庁から副市長が状況確認に來られ、「誰か手伝ってもらえ!」と声をかけて頂き、応援職員数名をホールに派遣してくれました。取り敢えずはホールの濁流を、通気口を通して吐き出すことが出来ました(当時の写真右)。

この行為が、後々考えると床の貼り換えなど数千万円に及ぶ工事費の難を逃れたことが分りました。

須佐の災害がトップニュースに

結局自分が自宅に帰ったのは、薄暗い車の通らない通行止めの国道を歩き、午後11時を過ぎていました。家の中も濁流が浸かり、寝る場所もない状態でした。取り敢えずは座椅子にゴミ袋を掛け仮眠。目が覚めると手元にムカデが居たことを覚えています。

早速この惨事を、記録に残したいとの思いで、朝6時から自前のカメラで、街中を取材することに・・・。

周りが明るくなると、街の様子や当時の悲惨な状況を詳しく話す住民の皆さんと遭遇、本当に大変な状況であったことが、会話の中で伝わってきました。わずか半日で、危機的な状況であったことが、時間が過ぎる毎に、その被害状況が明らかになりました。

朝8時になると、報道も動き出し、上空からはヘリコプターが飛び交い、国道191号線には、テレビ中継車が列を作り、朝のニュースでは、須佐の災害が全国のトップニュー

スとして報道。

そんなこともあり、東京や京阪神などから家族の安否を確認する電話が鳴り響き応対に追われました。

また、時間が経つにつれ、人的・物的な被害状況や避難状況・救済方法なども明らかに、この災害がとんでもない大きなことが明らかになりました。

地域内でも温度差あり・・・

この災害は、山口県北部に集中、特に須佐・田万川・阿東に甚大な被害が起こりました。そのためか、萩市内からは、7月28日は雨も降らず当日予定の須佐湾大花火大会の問い合わせがあるといった状態や同じ地域内でも、少し雨は降ったが市内の被害状況を全く知らない人達が沢山おられたのが事実でした。

須佐公民館も、被災施設でありながら、避難施設でもあり、朝から女性団体などの救援など多くの皆さんが入り込んでいました。

そんな中、公民館職員は何をしなればならないかを皆で協議し、順番付け、復旧と支援活動に取り掛かることとなりました。



タモリに負けずわが町を紹介

「ブラタモリ」ならぬ『ぶらぶらタムラ』が、わが町を紹介します。今回も前回に引き続き、石州口の戦い大村益次郎が辿った足跡を紹介します。

益田家の菩提萬福寺として

のちの1374年（応安7年）益田七尾城11代城主益田越中守兼見公が、現在の地に移築して「萬福寺」と改称し、寺領31石を与えて益田家の菩提寺になりました。

更に、1479年（文明11年）益田家15代益田越中守兼堯公が画聖雪舟を益田に招き、本堂の裏に石庭を造らせました。また、1866年（慶応2年）第2次長州征伐益田口戦争の際、当清瀧山は幕府軍の陣営となり、兵火のために総門は焼失しましたが、幸いに本堂庫裏にその類を及ぼすことなく現在に至っています、と

記されています。

万福寺に残る銃弾痕等の戦いの跡

萬福寺玄関の来観者受け付け案内所で入場券を買い求めて、本堂の奥の院に進んで行くと、本堂の右側木柱に直径2〜3 cm位の柱傷を見ることが出来ます。

堂内の説明パネルを見ると「本堂の柱にあるキズは長州藩諸隊による銃により打ち込まれた銃弾の跡」と説明されています。

更にパネルには「慶応2年6月17日幕軍浜田藩兵が駐屯していた、萬福寺に長州藩の諸隊が三方から銃弾を打ち込み、戸板の隙間を通して柱に命中した生々しい跡である。」



長州兵の銃弾痕

まもなく浜田兵は敗北して浜田に逃亡した。」とも追記されています。これが一つ目の跡です。

戦没者の追憶 昨日の敵は今日の友

戦跡の2つ目には、本堂の一角に幕長戦争益田口の戦いに当って、萬福寺は浜田藩兵の屯所でありました。浜田藩兵は、扇原でも益田市街地でも勇敢に戦ったが、長州兵の銃砲の威力に完敗しました。

御用人の山本半弥は、責任を負って峠山で自刃し、中老の片岡弾正も三隅の陣で自刃しました。壮烈な戦死を遂げた戦士達のために、萬福寺では「昨日の敵は今日の友」として、浜田藩兵、長州藩兵のそれぞれの位牌を特製して、安置し、末永く冥福を祈り続けていると言われます。寺には本堂の一角に位牌安置所が設けられています。

万福寺の見所「雪舟庭園」

本堂の裏側の縁側に立つと、庭面積1421㎡（約430坪）の石庭を見ることが出来ます。

この石庭は、約546年前の1479年（文明11年）に、益田家15代城主益田越中守兼堯公が画聖雪舟を益田に招いて造ったもので、寺院様式の須弥山世界（仏教の宇宙観）を象徴された石庭であると、説明されています。特にあの詩人島崎藤村も次のような一詩を詠んでいます。



萬福寺本堂裏にある雪舟庭

「古大家の意匠になれる庭を前にして、しばらく旅の時をおくる」



まいど！

地域おこし協力隊の山本です。いつもお世話になっております！

「須佐公民館スマホクラブ」

今回は、9月17日(水)に開催した「須佐公民館スマホクラブ」についてご紹介いたします。このスマホクラブは、僕が今回始めた取り組みで、テーマは「スマホを楽しく使ってみよう」です。スマホ教室のような形ですが、僕が先生というより、一緒に学び楽しむ伴走者として進めたいと思っています。その中で、各回ごとに「身近で役立ち、そして楽しい内容」をテーマとして取り上げていきたいと考えています。今回好評でしたので、今後も続けていく予定です。

第1回目は、「Gemini (ジェミニ)とお喋りしよう」にしてみました。まず、AIやGeminiについて知っていただくために「AIって何? Geminiって何?」という説明を行い、僕がGeminiの力を借りて作成したスライドを見てもらいました。その後、参加者の皆さんのスマホにGeminiアプリをインストールし、実際にGemini Liveを利用してお喋りを体験。旅行先



スマホクラブの様子

までの道のりを調べてもらったり、写真を読み込ませて花の種類を特定したり、萩の名所について解説してもらったりと、さまざまな使い方を楽しんでももらいました。最後には「個人情報が入れない」「答えをうのみにせず参考にする」といったAI活用の注意点もお伝えしました。

5名の参加者の皆さんは、実際に触れてみる中で、とても楽しんでおられました。こという難しいイメージがあるかもしれませんが、お喋りをしているような感覚で様々なことを調べられるので、誰でも使える可能性があります。スマホは日常をもっと便利に、もっと楽しくしてくれる道具です。今後も「身近で役立つ楽しいテーマ」を準備していきますので、ご興味のある方はぜひ次回(10月15日)のスマホクラブにご参加ください！

おおきに！

第41回 須佐美術展開催！



★開催期間 11月1日(土)～5日(水)
午前9時～午後4時

★開催場所 須佐公民館(1階多目的室・ロビー)
須佐文化センター玄関側ロビー



《人権教育啓発作品》

人権に対する正しい理解を求め、明るく住みよい社会を目指し、皆さんの心に訴える力作を展示します。

《萩市美術展巡回作品展》

萩市で開催された、美術展の中から、すぐれた作品を展示します

《ふるさと愛護スケッチ展》

須佐地域の故郷の自然と文化・文化財に対し、お互いが認識を新たにし、保護・活用を図り後世に伝えることや、郷土を愛することを育むことの重要性を考え、歴史と文化、そして美しい自然に囲まれた須佐地域を大切にする心を培うことを目的に毎年開催しているものです。

多くの皆さんのご来場をお待ちしております。

●須佐美術展問合せ先

須佐美術展実行委員会
佐公民館内 ⑥2310



まちの駐在さん



最近、何かと物騒なニュースが多いようですが、防犯関係などの行事やイベントってあるのでしょうか。教えてください。

一年を通して、警察や防犯ボランティア団体の各種活動はありますが、今月は、

「全国地域安全運動」 10月11日（土）～10月20日（月）の10日間

があります。

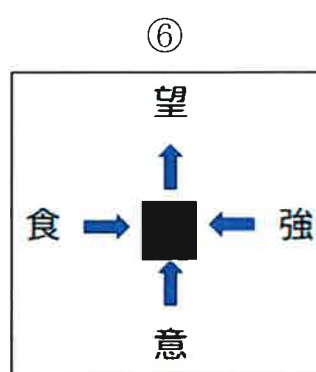
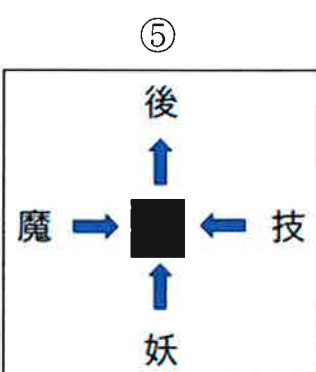
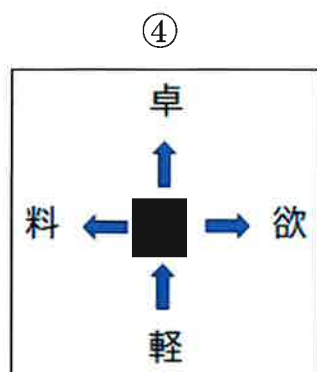
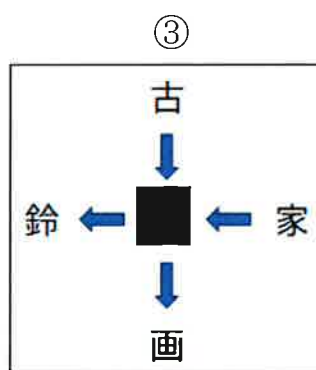
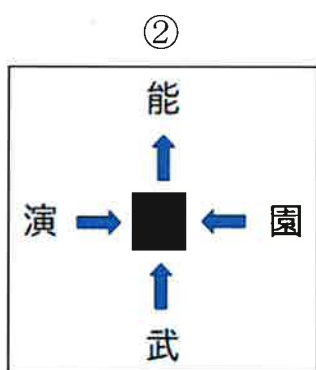
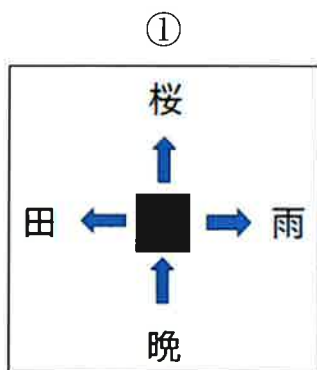
「全国地域安全運動」とは、安心して暮らすことのできる地域社会を実現するため、防犯協会をはじめとする、地域の安全を担う関係機関・団体と警察が期間を定め、地域安全運動を強化し、地域住民の皆様とともに、様々な取組を実施するものです。

令和7年度の重点目標は、次のとおりです。

- うそ電話詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺の被害防止
- 子供と女性の犯罪被害防止



この機会に、犯罪被害防止対策について、家族で話し合い、防犯について考えてみましょう。



余暇を利用して、家族みんなで次のクイズに挑戦しましょう。
今回も「漢字穴埋めクイズ」です。
【Ｑ、次の①～⑥の■に入る漢字を、それぞれ応えましょう。
その後、その■に入った漢字を並べて出来る「二字熟語」を
3つ答えてください。】
（※答えは最終ページにあります。）

おうち時間をクイズで楽しく過ごそう！

★答えは＝

. .



生涯学習作品コーナー

《作品コーナー》



「阿武海岸石州街道の墨絵」 田村雅利

【俳句】

かき氷ひと匙なめて母見上げ

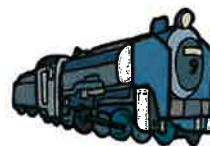
(山根丁東) ゆめはるか

【短歌】

山間をS1列車ひた走る

汽笛こだまし黒煙残し

(青葉台) 田村雅利



冷や奴硝子器に涼ありて

先ずは手にする夕餉かな

(山根丁東) ゆめはるか



大塚 均 (1911-1998)

アジアジャンボリー記念切手

ジャンボリーは、中学・高校生年代を対象とした教育行事で、野外活動を通し、アドベンチャーやチームワーク、多様性などを中心としたプログラムを体験し、仲間と協力しながら個々の成長を深める行事です。第5弾第3回日本ジャンボリー（アジアジャンボリー）が、昭和37（1962）年8月3日～8日、静岡県御殿場で開催されたことを記念し、昭和37年7月10日10円切手が発行されました。大塚均51歳の作品です。

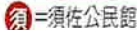
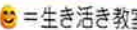
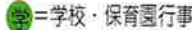
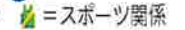
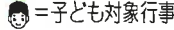


このコーナーでは、切手デザインの大家である大塚均（山根丁東出身）さんがデザインされた約120点の作品を随時紹介しています。

切手カバー図案も合わせてお楽しみ下さい。

須佐の偉人伝 大塚均

103

2025		10月 地域カレンダー				
=須佐公民館 =弥富公民館 =生き生き教室 =学校・保育園行事 =スポーツ関係 保セ=保健センター =子ども対象行事 弥G=弥富グラウンド						
日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
★読書週間 期間：10/27～11/9			1 つどい会 10:00	2	3	4 
5 ■そばの花まつり (弥富)9:30	6 麻雀クラブ 13:00 ピンポン・ポッチャ 13:30	7 須 パッチサークル 9:30	8 歩こう会 8:45 色えんぴつ画 13:30 学合同陸上記録会	9 須佐保育園遠足 育英小参観日	10 手芸クラブ 9:30 囲碁・将棋 13:30	11
12 須 韓国カフェ 13:30	13 スポーツの日 	14 須 スマホ相談所 9:00 エコクラフト 9:30	15 色えんぴつ画 9:30	16 生き活き体操 8:45	17 弥 さつき学級 8:15	18 弥 子ども会 9:00
19 家庭の日	20 麻雀クラブ 13:00 ピンポンクラブ 13:30	21 須 パッチサークル 9:30	22 音楽療法 13:30	23 	24 手芸クラブ 9:30 囲碁・将棋クラブ 13:30	25 学 須佐中文化祭
26 弥富地区体育大会 8:30	27 須 スマホ相談所 9:00 エコクラフト 9:30 麻雀クラブ 13:00 ピンポン・ポッチャ 13:30	28 須 あおば勉強室 13:30	29 弥 Gゴルフを楽しむ会 9:30	30 須佐美術展準備 (須公) 13:00	31 	

● 弥富さつき学級

「視察研修」

土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム、藤光海風堂本店」

○とき 10月17日(金)

○ところ 午前8時15分から
下関市豊北町・長門市

○参加費 2,200円

○申込み (昼食代・観覧料)
10月10日(金) まで
に弥富公民館☎012044へ

● 須佐あおば勉強室

身近にあるものを利用しよう
「楽しく染物体験！」

○とき 10月28日(金)

○参加費 300円(布代)
午後1時30分から

○申込み 10月22日(水) まで
に須佐公民館☎02310へ

※詳細は、回覧チラシにて

● 須佐さつき学級

あおば勉強室合同学級

「秋の遠足 秋芳洞へ」

○とき 11月13日(木)

○参加費 1,600円
(入洞料金)

○受付期間

10月6日(月)

～11月4日(火)

※詳細は回覧チラシにて

伝言板



毎月第3日曜日は「家庭の日」
今月は「19日」です
★家族みんなで過ごしましょう！

《クイズの答え》

- ・秋風（あきかぜ）・食欲（しょくよく）
- ・芸術（げいじゅつ） でした！

須佐地域の人口 (R7.8月末現在)

	世帯数	人口	前月比
須佐	917戸	1,604人	(△4人)
弥富	209戸	384人	(△1人)
合計	1,126戸	1,988人	(△5人)

昨年比 世帯数△30人 人数△89人

夏の暑さも和らぎ、ようやく秋らしくなりました。秋は「食欲の秋」「芸術の秋」「読書の秋」と良く言いますが、涼になると体も動かしやすくなり、いろんなことができますよね。

紅葉も楽しめる時期、家に引きこもらず、まわりの風景も散歩しながら楽しんでみませんか。